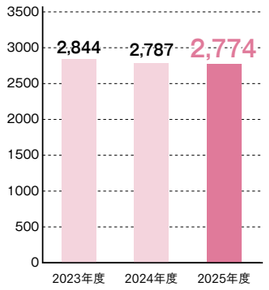
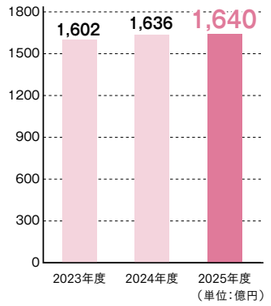
おもな業績

預金・貸出金

●預金積金（残高）



●貸出金（残高）



預金積金（残高）
2,774億円

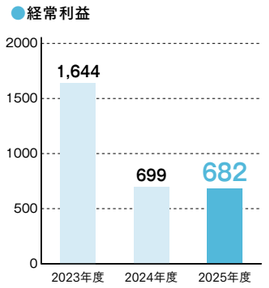
貸出金（残高）
1,640億円

業績面につきましては、預金積金において期末残高2,774億円（前年比減少額12億48百万円、減少率0.45％）、期中平均残高2,860億円（前年比減少額15億24百万円、減少率0.53％）となりました。

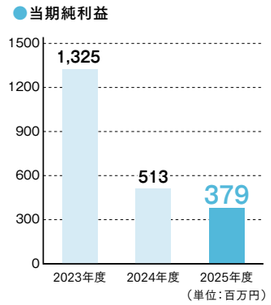
一方、貸出金においては、期末残高1,640億円（前年比増加額3億56百万円、増加率0.22％）、期中平均残高1,646億円（前年比増加額29億72百万円、増加率1.84％）と、期末残高・期中平均残高ともに増加となりました。

利　益

●経常利益



●当期純利益



経常利益
6億82百万円

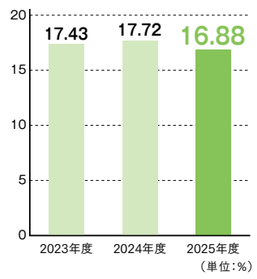
当期純利益
3億79百万円

収益面につきましては、経常利益6億82百万円（前年比減少額17百万円、減少率2.43％）。当期純利益3億79百万円（前年比減少額1億33百万円、減少率26.07％）を計上。

十分な利益を確保する事ができました。

自己資本比率

●自己資本比率



自己資本比率は、経営の安定性を示す最も重要な指標と言われ、国内基準では、4%以上を保つよう義務づけられています。

前年度は、17.72%、今年度において16.88%と基準を大幅に上回っており、高い健全性を維持しております。

自己資本比率
16.88%

自己資本額
338億19百万円

当金庫は、自己資本額の充実を経営方針に掲げ、収益の強化を図るため、資産の分散化でリスクゼロ資産から少しリスクのある資産での運用も増加させた結果、自己資本額は3億93百万円増加し、自己資本比率は前年度より0.84%減少しました。

今後とも、経営の健全性維持していくため収益力の強化に努め、自己資本の充実を図ってまいります。

地域経済活性化への取り組み

当金庫の理念（協同組織の特性）

当金庫は、福岡県一円を営業地域として、地元の中小企業者や住民の方が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。地元のお客さまからお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをしています。

また、地域社会の一員として金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取組んでおります。『このまちの見る夢が、わたしの夢です。』は、当金庫のスローガンです。地域の夢、将来、全てを共有して発展していきたい。そういった思いをこの言葉に込め、今後も業務を進めてまいります。

（2026年3月31日現在）

お客さま／会員

預金積金

お客さまの預金について

当金庫では、地域のお客さまの着実な資産づくりのお手伝いをさせていただいております。お客さまの大切な財産の運用を安全に、確実に、気軽にご利用いただけるように、目的や期間に応じて選択いただけますよう各種預金を取り揃えております。

預金積金残高　277,452百万円

飯塚信用金庫

会員数
15,657人
出資金残高
446百万円
常勤役職員数
197人
店舗数
20店舗
店舗外ATM
14ヵ所

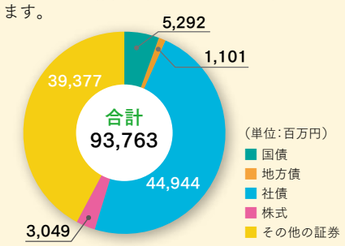
今期の決算について

当金庫は、積極的な融資推進、効率的な資金運用および経費節減に努めるなど経営の効率化を進めたことにより、業務純益742百万円、当期利益379百万円を計上することができました。自己資本比率は16.88％と国内基準を大きく上回っており、高い健全性を維持しております。

資金運用

貸出金以外の運用について

当金庫はお客さまのご預金を、ご融資による運用のほかに有価証券による運用も行っております。



貸出金

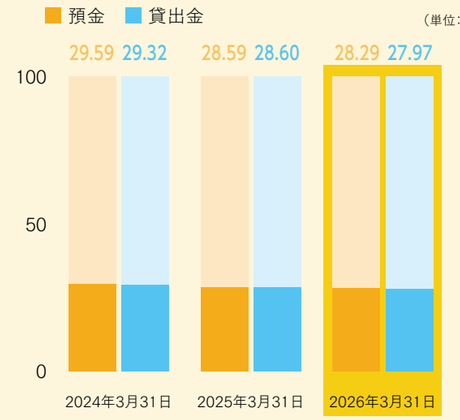
地域のお客さまへのご融資について

お客さまからお預けいただいた預金積金につきましては、お客さまの様々な資金ニーズにお応えし、地域経済の活性化に資するために、円滑な資金の供給を行う形でお客さまや地域に還元しております。いいしんは、事業所先に対し設備資金に65,000百万円、運転資金に41,713百万円をご融資しております。

また、個人のお客さまには住宅ローン35,009百万円、消費者ローン6,698百万円をご融資しており、当金庫が積極的に地元への融資を行っていることを表しています。

貸出金残高　164,002百万円
預金積金に占める貸出金の割合
期間中平均 57.56%　**期末残高** 59.11%

預金貸出金のシェアー（飯塚地区）



お客さま／会員

中小企業の経営支援に関する取り組み

経営改善支援への取り組み状況

当金庫の経営改善支援は2004年度より実施しており、2012年11月には審査部内に企業支援グループを設置し、企業への訪問活動を通じて経営改善支援の強化を図っています。

2025年度は16先を経営改善支援先と定め、本部担当者と営業店と連携して企業訪問を実施し、課題解決のための支援を行ってまいりました。

新型コロナウイルス感染症は収束しましたが、新たな問題として原材料費や人件費の高騰により業況の回復が遅れている企業に対しては、福岡県中小企業活性化協議会やふくおかサポート会議などの外部専門機関の支援も仰ぎ経営改善計画書の策定を行う等、経営改善のための支援を行いました。

経営改善支援等の取組み実績【 2025年4月 ～ 2026年3月 】

（単位：先数）

			期初債務者数	うち経営改善支援取組み先数				経営改善支援取組み率	ランクアップ率	再生計画策定率
			A	α	αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 β	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 γ	αのうち再生計画を策定している全ての先数 δ	α／A	β／α	δ／α
正常先		①	1,874	0		0	0	0.0%		0.0%
要注意先	うちその他要注意先	②	392	9	0	7	6	2.3%	0.0%	66.7%
	うち要管理先	③	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
破綻懸念先		④	80	7	0	5	3	8.8%	0.0%	42.9%
実質破綻先		⑤	53	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
破綻先		⑥	18	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
	小計（②～⑥の計）	⑦	543	16	0	12	9	2.9%	0.0%	56.3%
	合計（①+⑦）		2,417	16	0	12	9	0.7%	0.0%	56.3%

（注）
- ●期初債務者数及び債務者区分は2025年４月当初時点で整理
- ●債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む。）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。
- ●βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めない。
- ●期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含める。
- ●期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理した。
- ●期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。
- ●γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。
- ●みなし正常先については正常先の債務者数に計上した。
- ●「再生計画を策定した先数δ」＝「中小企業活性化協議会の再生計画策定先」＋「ＲＣＣの支援決定先」＋「金融機関独自の再生計画策定先」

経営者保証に関する取組方針及び「経営者保証に関するガイドライン」への取組状況

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を以下のとおり策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

（1）経営者保証に関する取組方針

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）の趣旨や内容を踏まえ、同ガイドラインを融資慣行として浸透・定着していくために、以下のとおり取り組みます。

＊お客さまが融資等資金調達のお申込みをした場合、当金庫では、お客さまのガイドラインの要件の充足や経営状況等を総合的に判断する中で、経営者保証を求めない可能性や経営者保証の機能を代替する融資手法（一定の金利の上乗せ等）を活用する可能性について、お客さまの意向を踏まえたうえで検討いたします。

＊上記の検討を行った結果、経営者保証を求めることがやむを得ないと判断し、経営者保証を提供いただく場合、当金庫はお客さまの理解と納得を得ることを目的に、保証契約の必要性等に関する丁寧かつ具体的な説明を行います。

＊経営者保証を提供いただく場合、お客さまの資産及び収入の状況、融資額、信用状況、情報開示の姿勢等を総合的に勘案して、適切な保証金額の設定に努めます。

＊お客さまから既存の保証の変更・解除等の申入れがあった場合は、ガイドラインに即して改めて経営者保証の必要性や適切な保証金額等について真摯かつ柔軟に検討を行うとともに、その検討結果について丁寧かつ具体的な説明を行います。

＊事業承継時には、原則として前経営者、後継者の双方から二重で経営者保証は求めないこととし、例外的に二重に保証を求めることが必要な場合には、丁寧かつ具体的な説明を行います。また、後継者に当然に保証を引き継いでいただくのではなく、その必要性を改めて検討いたします。

＊お客さまからガイドラインに基づく保証債務整理の申し出を受けた場合には、ガイドラインに即して誠実に対応いたします。

（2）「経営者保証に関するガイドライン」への取組状況

項目	2025年度
新規に無保証で融資した件数	262件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	30.28%
保証契約を解除した件数	2件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数（当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る）	0件

2025年度 地域とのふれあい＆トピックス

①図書カード寄贈

飯塚市、嘉麻市、宮若市、桂川町の全小中学校51校及び公立図書館11館に総額354万円の図書カードを寄贈いたしました。
（33回目、累計額1億1,316万円）
2025年12月18日…嘉麻市、桂川町　12月19日…飯塚市、宮若市


飯塚市


宮若市


桂川町


嘉麻市

②寄贈及びボランティア活動

いいしんは、「飯塚国際車いすテニス大会」、「飯塚新人音楽コンクール」にも毎年寄贈させていただいております。
また、「飯塚国際車いすテニス大会」へは、当金庫若手職員15名がボランティアとして参加させていただきました。



③「いいづか子ども体験型キャリア教育事業」への協賛

当金庫は、飯塚市が2023年度から取り組んでいる「いいづか子ども体験型キャリア教育事業」に協賛しており今回で3年となりました。
当金庫からは、飯塚市役所穂波庁舎に設置している体験型学習プログラム施設「スチューデント・シティ」へ、企業ボランティアとして職員1名を派遣し、一般ボランティアの方々とともに円滑な運営へのサポートを行っています。







直近の事業年度における事業の業績

④いいしんふれあい旅行

当金庫で年金自動受け取りのお客さまを対象に「いいしんふれあい旅行」を実施しました。（10月27～29日）
好天にも恵まれ、39名の皆さまに沖縄を満喫していただきました。



⑤第8回しんきん合同商談会

2025年11月12日にマリンメッセ福岡にて、一般社団法人九州北部信用金庫協会と九州北部13信用金庫（当金庫含む）が主催する「第8回しんきん合同商談会」が開催されました。
出展企業は367社、来場者は5,246名といずれも前回を上回り、多くの商談が行われ盛況のうちに閉会いたしました。








⑥いいしん中心市街地清掃活動

2025年11月22日に役職員132名が参加し、第11回目となる「いいしん中心市街地清掃活動」を実施いたしました。





⑦いいしんロビーコンサート

2025年12月18日に「第14回いいしんロビーコンサート」を開催いたしました。
林ゆか様（ソプラノ）、岡直美様（ピアノ）の生演奏で、童謡や唱歌を中心に、懐かしく心に響く曲をお客さまにお届けいたしました。





⑧いいしん雛祭り

「第26回 いいづか雛のまつり」の開催にあわせ、本店営業部のロビーに雛人形を展示いたしました。休日には来場されたお客さまには雛飾りをバックに記念写真撮影のサービスや雛あられのプレゼントを行いました。また、本部玄関を「お茶会」の会場として開放し、お点前を楽しんでいただきました。（2026年2月）

⑨しんきん交通安全教室

九州北部信用金庫主催の「しんきん交通安全教室」を、2026年3月4日にいぎすれんげ幼稚園にて開催いたしました。